

1. あいさつ

岡村地区連合町内会 会長 宮澤 章

5月の岡村地区連合町内会総会において連合町内会会長に選任されました。

岡村西部第一自治会長も兼務しています。岡村地区7自治会皆様のご協力を頂きながら、職の重責を務めて参りますので、よろしくお願ひいたします。

前任の三澤前会長は卓越したリーダーシップで「安全と安心のまち岡村」を築いてこられました。自らがリーダーとして青色灯搭載車による防犯パトロールを行い地域の「安全」に努めています。

岡村地区も高齢化が進んでいますが、ある調査によれば人の幸せは歳をとっても自分の家で過ごせることが一番とのこと。一方、老々介護世帯も徐々に増加傾向ですがそこで大切なことは相互互助の「見守りと助け合い」です。見守り方法もいろいろあり、災害時要援護者支援事業もそのひとつですが、基本は日ごろの「見守り」に勝るものではなく、日常のなかで高齢者が「安心」して暮らせる岡村を地区全体で進めて行きたいとおもいます。

今年度もコロナ禍が収まらず計画されている事業の実施が難しい状況で、幾つかの事業が中止になりました。コロナ感染防止対策を基本に実施できる事業を模索し進めて行きたいと思ひます。

ご協力をよろしくお願ひいたします。



岡村地区社会福祉協議会 会長 橋本康正

昨年から世界中を席卷しているコロナ禍は地域の活動に影響を及ぼし、今もその渦から逃れ切れておりません。

インフルエンザに比べて、感染力が強い、潜伏期間が長い(感染の自覚がない人が他に感染させてしまう)症状が重たい・長いなどと言われています。私たちは、感染についての留意事項を守り、一日でも早く、ワクチン接種が広まることを願うばかりです。現時点で、国内の1,450万人が1回目のワクチン接種を受けたようです。

(国立感染症研究所6月9日発表)

さてこの最中、推進体制の継続性を確保するため、各種団体・組織の総会等が行われました。岡村地区社協でも、副会長を増員し、新たに岡村地区連合町内会宮澤章会長をお迎えしました。また、前地区連合町内会の三澤繁次相談役(前地区連会長)には監事に、地区青少年指導員協議会の庄司泰成会長を会計にお迎えし、強固な地区社会福祉協議会の運営に、関係者全員が尽力してまいります。再任された 会長橋本、事務局長阿部、副会長道土井亨・本間太一共々宜しくお願ひ致します。

梅雨を迎え、鬱陶しい季節となりましたが、あちらこちらで見かける紫陽花の彩と日に日に濃さが増してくる新緑に心が洗われます。皆様、くれぐれもお身体を大切にされ、来るべき活動の再開に備えてまいりましょう。



前 岡村地区連合町内会 会長 三澤繁次

岡村地区連合町内会長退任にあたって

コロナ禍が収まらず、コロナワクチンの接種予約に奔走している今日この頃ですが、地域の皆様におかれましては「3密」等を避けながらお元気にお暮らしのこととお喜び申し上げます。

昨年度は、コロナ感染予防の立場から例年通り計画しました事業のほとんどを実施することができませんでした。このような状況を経験し、人と人との繋がりがいかに重要であるかを今更ながら思い知らされております。

このような大変な時期に岡村地区連合町内会会長職を退任させていただき、誠に申し訳ありませんでした。会長在任中は皆様方に大変お世話になり、またご協力を頂き誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

さて、後任会長には岡村地区連合町内会副会長の「宮澤章」氏が就任いたしました。まだ若く活動的な方であり、このコロナ禍の難局をうまく乗り越えていかれると期待しております。

どうぞ次期宮澤会長に今後もお協力いただけますようお願い申し上げます、退任のごあいさつとさせていただきます。誠にありがとうございました。



2. 功労者表彰

○磯子区消防出初式での表彰 令和2年1月11日

消防署長表彰

個人:小林四郎氏 (岡村中部)

団体:岡村地区民生委員児童委員協議会

(代表者:本間太一会長)

家庭防災員: 木内達子氏 (岡村西部第一)

○横浜市青少年指導員大会 令和3年5月25日

永年勤続表彰 15年 :庄司泰成氏 (岡村西部第二)

青少年指導員 磯子区表彰

5年 :近藤正訓氏 (岡村西部第一)

5年 :大石直樹氏 (岡村西部第三)

5年 :松野陽子氏 (泉谷自治会)

3. 岡村地区年間事業計画

- ・ふれあい草木展(岡村西部連合) 【中止】
- ・3R夢・いそごクリーンデー 6月 5日
- ・歩け歩け大会 【秋に変更】
- ・第5回岡村梅林「梅収穫祭」 【中止】
- ・初夏の「高齢者の集い」 【中止】
- ・広報紙「おかむら」36号発行 7月 1日
- ・第28回児童交流「山と緑の児童交流」【来年に延期】
- ・自治会夏まつり 7~9月 自治会毎に【中止】又は予定
- ・地区コスモスミーティング 7月7日
- ・親子工作教室 8月7日
- ・敬老祝賀訪問 自治会毎に実施 9月21日

以下の事業計画はコロナ禍の状況により実施は未定

- ・学校・地域合同登校路清掃 10月2日・11月上旬
- ・第23回防災親睦健民祭 10月10日
- ・第14回久良岐まつり 10月23・24日
- ・秋の「高齢者の集い」 11月3日
- ・第21回文化祭 11月13・14日
- ・第17回スポーツフェスティバル 11月14日
- ・ペットボトルロケット飛行 11月14日
- ・和凧つくり 12月12日
- ・餅つき クリスマス会 12月19日
- ・広報紙「おかむら」39号発行 令和4年1月1日
- ・磯子七福神巡り 1月9日
- ・地区新年賀詞交換会 1月10日
- ・子ども書初め会 1月16日
- ・岡村梅林ライトアップ・梅まつり 2月26・27日
- ・防災スマイリングフェア2022(第7回) 3月6日

4. 岡村地区 諸団体代表者

- 岡村地区連合町内会会長 宮澤 章
- 岡村地区社会福祉協議会会長 橋本康正
- 岡村地区社会福祉保健計画推進委員会会長
(スイッチON磯子IV) 宮澤 章
- 自治会長
 - 岡村西部連合自治会 小島治夫
 - 岡村西部第1自治会 宮澤 章
 - 岡村西部第2自治会 阿部恒夫
 - 岡村西部第3自治会 小島治夫
 - 笹堀菱興団地自治会 佐々木和博
 - 岡村住宅自治会 福田萬利子
 - 泉谷自治会 伊東之也
 - 岡村中部自治会 橋本康正
- 諸団体代表
 - 地区民生委員・児童委員協議会会長 本間太一
 - 地区スポーツ推進委員協議会会長 吉田千春
 - 地区青少年指導員協議会会長 庄司泰成
 - 地区子ども会会長 宮澤 章
 - 地区防犯指導員 三澤繁次
 - 地区環境事業推進委員会会長 鈴木敏彦
 - 地区保健活動推進員会長 道土井 亨
 - 地区消費生活推進員代表 芦澤千枝子
 - 地区家庭防災員代表 梗間美知枝
 - 地区赤十字奉仕団団長 武田千津子
 - 磯子消防団第二分団長 小島誠
- 学校関係
 - 岡村中学校校長 高橋浩二
 - 汐見台中学校校長 湯口理香
 - 藤の木中学校校長 本田耕平
 - 岡村小学校校長 川村真弘
 - 山王台小学校校長 遠藤清美
 - 藤の木小学校校長 岸田 晋
 - 横浜学園高等学校 田沼光明
- 防犯連絡所
 - 岡村西部第一自治会 神谷満生 (防犯部長)
 - 岡村西部第二自治会 池貝紀昭 (防犯部長)

- 岡村西部第三自治会 望月定之 (防犯部長)
- 笹堀菱興団地自治会 佐々木和博 (自治会長)
- 岡村住宅自治会 福田萬利子 (自治会長)
- 泉谷自治会 伊東之也 (自治会長)
- 岡村中部自治会 西田孝俊 (副会長・防犯部長)

- ・防犯連絡所は、警察と地域の防犯活動を密接にするために設置されます。地域住民のうちから防犯連絡員を選任・委嘱し、防犯連絡員の世帯を、防犯連絡所に指定します。
- ・防犯連絡所(員)は、岡村交番、または磯子警察署から必要な情報を得た場合地域に報告する。
- ・自治会内等において防犯上の問題が生じた場合は、必要に応じて自治会長・地区会長に報告、及び警察への連絡調整等を行います。
- ・防犯連絡所は 各自治会1名 計7名 任期:1年 再任を妨げない。原則、自治会長が当たりますが防犯部長等が従事している自治会もあります。

5. 岡村地区活動報告 (令和3年1~6月)

○凧揚げ大会 1月4日

富士山も見える晴天に恵まれました。岡村公園管理事務所の皆様の協力のもと凧上げ会を実施することができました。当日は、自作の凧のほか、昔遊びの道具も多く用意されました。竹トンボ、独楽、お手玉、羽子板、けん玉など、青指や子ども会メンバと楽しく遊びました。最後にお菓子を配り終了しました。

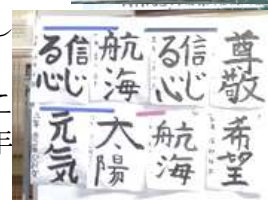


○書初め会 1月17日

西部会館にて恒例の「新春書初め会」を開催しました。現代は仕事や手紙を書く際にはパソコンが主流の時代です。

子どもたちは学校の授業の一環として「習字」を教わっています。「習字」は字を習うとありますが、心を育てることに通じることから子ども会と青少年指導員会が共催して年明け早々に実施しています。

今回は小学3年から中学1年の10人が参加、約2時間のなかで各学年ごとに決められた課題を一所懸命書いていました。



○岡村小学校防災拠点訓練 1月23日

コロナ禍状況の改善がみえないため予定されていた地域防災拠点である岡村小学校会場の利用を中止して日程変更し、西部連合自治会館を会場にして参加を運営委員会メンバーに限定、実施しました。

訓練内容はコロナ感染対策をもとにした拠点開設訓練としました。受付の方法、生活場所として磯子区へ配備される段ボールベットの組立、生活空間としてのテントなどを組立てし、これらの大きさをもとに拠点である岡村小学校体育館に当てはめて何世帯の避難者受入れが可能かなどを話し合いました。



受付方法の確認 →



テント



段ボールベット

○岡村中学校防災拠点訓練 2月28日

コロナ禍であり緊急事態宣言発令中でもあったため防災拠点運営委員会と防災ライセンスのメンバーで実施し、地域住民が参加する訓練は行わず、防災備蓄庫点検を行いました。

発電機や防災用照明器具等の点検や動作確認非常食料や水等の数量と使用期限などの点検を行い適切に管理されていることを確認しました。



○地区スイッチON「歴史散歩」 3月20日

かつて岡村に禅馬川<ぜんまがわ>が流れていました。現在は全て暗渠になって、川の流れは見られませんが、当時は岡村の北側と南側の山裾<やますそ>に小川が流れていて、2つの小川が高橋<たかばし>から坂を下り切ったところで合流して一本の禅馬川になり、磯子の海へ流れていました。

郷土史研究家 葛城峻<かつらぎしゅん>先生の引率指導で旧禅馬川に沿って「歴史散歩」を3回楽しみました。

一昨年は真照寺や磯子小学校、浜マーケットなど下流に向かっての「歴史散歩」

昨年は上流に向かい真光寺や黒船見物の丘を経て水源の久良岐公園への「歴史散歩」

そして今年はまだもう1つの水源を探索するために旧岡村ぶどう園や汐見台方面への「歴史散歩」の後、旧東伏見邦英伯爵別邸跡地を訪れました。(ここは後に横浜プリンスホテルになり、現在は横浜磯子Brillia Cityになっている)

貴賓館の向かい側にある多目的スペースで葛城先生の歴史講話を聞き、最後は遙か根岸や磯子の海を遠望して歴史散歩を終了しました。岡村からわずか1~2kmほどのところに「伯爵さま」(昔、岡村の人たちは「宮さま」と呼んでいました)の別邸があったとは・・・

旧禅馬川の下流と上流を「歴史散歩」して、岡村の歴史について理解を深めることができました。



○3R夢クリーンデイ 地域清掃 6月5日

コロナ禍の現在、小・中学性には声掛けを行わずに地域住人60名による地域清掃として、75袋のゴミ回収を行いました。曇り空で絶好の天気でしたが、天気は回復し、気温も上昇して汗ばんだ中での作業となりましたが、けが人も、熱中症もなく、無事に終わりました。

次回は子供たちの参加も得られる状況になって欲しいものです。



6. 岡村地区諸団体の紹介

○岡村地区環境事業推進委員連絡協議会

環境事業推進委員は、各町内会から推薦され、一般廃棄物の減量化、資源化、適正処理、地域の清潔保持等の推進等の推進に関する横浜市の施策への協力その他の活動を行うことにより、「ヨコハマ3R夢プラン」、脱温暖化に向けた3R夢行動の推進の実践啓発活動の推進、地域のごみ集積所の清潔保持を図ると共に環境事業の円滑な運営と、我々市民の生活環境の向上を図る事を目的に岡村地区14名の推進委員で活動しています。

具体的な活動

- ①歩きたばこ防止キャンペーン
- ②磯子まつりでのごみステーションにおける分別啓発
- ③いそごどもエコフェスタでの来場者への食品ロス削減等の啓発
- ④横浜マラソン沿道清掃
- ⑤健民祭での分別啓発
- ⑥地域清掃への参加
呼びかけ及び当日の準備・片付け



○滝頭・岡村地区消費生活推進委員会

消費生活推進員は、横浜市長から委嘱を受け、衣食住から環境問題まで、幅広い分野における『生活の中での疑問』について学習をし、地域の皆様に情報を提供する活動をしています。

私達の生活スタイルが多様化し情報があふれている現在、自分の生活を守るため、消費者として様々な情報を把握しておくことが重要です。



研修等で消費生活に関する正しい情報とトラブル時に対応できる「消費者力」を身に付け、「悪質商法」被害未然防止のため、地域に広げる取り組みを実施しています。

地域での講座や啓発を行う際は、滝頭と岡村の2地区合同で活動をしています。今期は18名が委嘱を受けました。

令和2年度は活動が制約されましたが、高齢者のサロンで紙芝居や寸劇による啓発講座を実施、また自治会・町内会の集まりでミニ講座を開催し、悪質商法被害を未然に防止する活動を行うことが出来ました。



↑ 悪質商法 寸劇

これからも地域の皆様とともに、わたしたちの「安全・安心なくらし」のための活動を行っていきます。

7. 岡村地区連合町内会におけるICTの活用について

岡村地区連合町内会では、横浜市からの補助金を受けてICT（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジーの略で、「情報通信技術」の意味）を活用して、会議の参加自由度の向上、情報共有の効率化、情報管理の強化を図ることとしました。

具体的には西部会館外からweb会議への参加や会議資料等を外部データ保存装置に保存して外部からの閲覧印刷を可能とする、カレンダー機能を利用して会議やイベントのスケジュールを効率化することが可能となります。

市の委託業者 J-COMの関係者講習会も終え、現在は外部からのweb会議への参加まで実証されており、他の機能については、今後7自治会長を中心に10名で構成されている「地区ICT利活用・新しい活動スタイル推進委員会」で検討・推進していくこととなっています。



8. 初期消火箱の整備について 西部第一自治会

岡村西部第一自治会は下のバス道路から三殿台まで高低差が大きく住宅が密集している地域です。もしもの際には消防車が消火活動のため火災元に入る前に、住民による初期消火の活動が期待されます。

そのため自治会には初期消火箱が5個設置されていますが、保管箱や内部の消火器具類に劣化が見られることから、家庭防災員の方たちが研修を兼ねて全数確認を実施しました。



↑ 5ヶ所中4ヶ所が更新必要

今年度、消防署が通常の初期消火器具への補助金以外に器具類の更新に対しても補助申請ができることから更新を一括申請し



↑ 可搬型スタンドパイプ式初期消火器

場所によっては保管箱と内部の器具が全て更新のものもあることから、磯子消防署予防課より更新が必要な器具と併せ、可搬型のスタンドパイプ式初期消火器の取り入れなど提案されました。

更新後は初期消火箱付近の方々に器具類の取扱い訓練へ参加をお願いしていきます。